

## 実践学校教育研究 執筆要項

### I 書式

- (1)原稿は、A4 版用紙の横書きとし、10 ページ以内の偶数ページとする。
- (2)書式は、原稿見本にしたがうこと。
- (3)表題は、フォントサイズは 14 ポイント、副題は 12 ポイントとする。
- (4)欧文タイトルは 12 ポイントとする。
- (5)概要は、フォントサイズ 8 ポイント、1 行は 58 字とする。
- (6)キーワードは、9 ポイント 3～5 つとする。
- (7)本文は次のとおりとする。
  - ①マージン（余白）：上 25.0 mm，下 22.5 mm，左右 23 mmの余白
  - ②フォントサイズ：9.5 ポイント
  - ③字数と行数：49 字×46 行
  - ④句読点：句点は、「。」，読点は、「，」
  - ⑤見出しの数字は全角，本文中の英数字は半角を原則とする。
- (8)字体
  - ①本文中の漢字仮名は MS 明朝，英数字は Times New Roman を原則する。
  - ②見出しや図表のキャプションは，全角，ゴシック体とする。

### II 完成原稿

校正段階で加筆・補筆の必要がないよう，完成原稿（図表の割付を行った原稿）のファイル（pdf もしくは word）を実践学校教育研究編集委員会にメールで提出する。

提出先：大阪教育大学初等教育部門「実践学校教育研究編集委員会」

### III 表題及び本文等の執筆

#### 1 記述の項目とその順序

- (1)テンプレートにしたがい，表題，執筆者，所属機関，概要，キーワード，本文，注，引用文献，謝辞や付記の順とする。
- (2)図，表，写真等について
  - ①表 1 (Table 1)，図 1 (Fig. 1) のように，文字はゴシック体にする。
  - ②表 (Table) のタイトルは表の上，図 (Fig.) のタイトルは図の下に入れる。
  - ③写真は図として扱う。

#### 2 表題

- (1)和文の場合
  - ①原稿の 1 行目から記述する。
  - ②副題を付ける場合は，主題と同行とせず，左右に 1 字幅のハイフンを付ける。
- (2)欧文の場合

欧文タイトルは，名詞・形容詞・動詞の単語の頭は大文字に統一。なお，連続報告の場合は，(II) のような表現とする。

### 3 執筆者名及び所属機関名

(1) 執筆者名は、表題（副題のある場合は副題）の下に1行空けて記述する。

(2) 所属機関名は、執筆者名の下に記述する。

① 本学専任教員は、部門名のみをあげる。

② 本学の非常勤講師、提出時の所属機関とする。

(3) 共同執筆の場合で所属機関の異なる場合は、執筆者名の右肩に「\*」、「\*\*」の印を付し、同一所属機関の執筆者は同一印とする。その所属機関は、執筆者名順に記述する。

例：\*大教太郎—DAIKYOU Taro   \*\* 柏原花子—KASHIHARA Hanako

\*初等教育部門   \*\*〇〇市立〇〇小学校

### 4 概要

(1) 和文の場合は、250～300字とし、欧文の場合は、100～250語とする。

(2) 概要は、その論文の目的・論述内容（結果）及び論議の焦点等を簡潔にまとめる。

(3) フォントサイズは8ポイントとし、1行は58字とする。

### 5 キーワード

(1) 国立情報学研究所へのデータベース入力のため、キーワードを付ける。

(2) キーワードの記入位置は、概要の下に1行空けて「キーワード：」として記入する。

(3) キーワードについては、以下の点に留意する。

① 具体的な意味のある語句を選ぶ（できるだけ狭義の語を選ぶ）。

② 名詞形を用いる。

③ 省略形はその専門分野で広く通用しているものを用いる。

④ 複合語や句は慣用されているものを用いる。

(3) フォントサイズは9ポイントとし、3～5つ程度とする。

### 6 本文

(1) 本文は、キーワード欄の下を2行空けて書き始める。

(2) 各章等の順序数字

① 章は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ等のローマ数字を使用し、行の中央付近に記述し、章が改まるごとに改行する。

② 節は、1、2、3等のアラビア数字を使用。和文の場合、行の左から1字（和文の場合）または3字（欧文の場合）空けて記述する。

### 7 注を付ける場合

<sup>1)</sup> <sup>2)</sup> のように、該当する箇所の右肩に付ける。フォントサイズは9.5ポイントとする。

### 8 引用文献

(1) [ ] にアラビア数字をつけて記載する。引用順もしくは第1著者名のアルファベット順に記載する。

文献を多数引用する場合はアルファベット順が望ましい。フォントサイズは9.5ポイントとする。

(2) 著書の場合：著者名、発行年、書名、出版社、頁の順を基本とする。

(3) 雑誌の場合：著者名、発行年、タイトル、雑誌名、巻号、発行、頁の順を基本とする。

### 9 謝辞

謝辞や付記を記述する場合は、引用文献の後一行空ける。そのフォントサイズは9.5ポイントとする。

### IV その他

必要な場合には、編集委員会が提出された論文の書式等の修正をすることがある。

日本語以外の言語による投稿に関しては、大阪教育大学紀要の執筆要項と留意事項に準ずるものとする。

(2022年5月18日変更)